

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した、主な取組事例

第1回経営協議会（平成21年6月22日開催）

○大学の独自性

□学外委員からの意見（平成21年3月23日開催第3回経営協議会）

- ・中期目標の前文に鳴門教育大学の独自性を打ち出すことが求められるのでは。

■大学の取組事例

- ・意見を参考に再検討し、前文に「教育」、「研究」及び「社会貢献・国際貢献」について重点的に取り組む事項を追記することとし、本学の独自性を打ち出した。

○第2期中期目標・中期計画

□学外委員からの意見（平成21年6月22日開催第1回経営協議会）

- ・「小学校英語センター」は全国に先駆けた優れた取り組みだと思うので、平成20年度業務実績報告書に取り組み状況を記載してはどうか。

■大学の取組事例

- ・平成20年度業務実績報告書には取り組み状況を記載済みであったが、意見を受けて記載内容について再検討し、取り組み内容の記述を充実させた。

第4回経営協議会（平成22年1月25日開催）

○第2期中期目標期間の大学運営組織

□学外委員からの意見（平成22年1月25日開催第4回経営協議会）

- ・理事、副学長の分担において、大学としての重要な役割である「学術研究」担当が不在である。「学術研究推進」等の担当を追加する必要があるのでは。

■大学の取組事例

- ・第2期中期目標期間の運営体制については、法人組織と大学組織をこれまで以上に明確に区分することとし、大学組織に、「学術研究」担当の副学長を置き、教育・研究担当理事が兼務することとした。

○eラーニング

□学外委員からの意見（平成22年1月25日開催第4回経営協議会）

- ・教育及び研究を行うことが大学の主な目的であることを常に認識し、経営戦略として、マーケットを調査し、eラーニング等の手法により需要に応える取り組みの導入を検討するとよいのでは。

■大学の取組事例

- ・eラーニング等については、従前から検討を行ってきたが、システム（学習管理システム）の構築・維持管理、運用上のサポート等を行うため、情報に関する専門的知識・技能を有する職員を、年俸制により1人採用することとした。